

# 清水委員資料



## 第6回再犯防止推進計画検討会意見

更生保護法人清心寮 清水義恵

### I 「地方公共団体における推進体制の整備等」

#### 1 社会復帰支援地域ネットワーク事業の創設・・・既述（以下第3回検討会意見）

- (1) 犯罪や非行を繰り返している人たちの多くは、住居・就労・高齢・障害・疾病・薬物等の依存など様々な問題を複合的に抱えており、単線的な支援で特定の機関・団体が抱え込んでいては効果的な支援につながらない。また保健医療・福祉は地域生活支援であり、自治体を中心とした地域のネットワークを構築しての取り組みが必要である。特に対象になる人たちはほとんどが孤立を余儀なくされ、相談するということができないでいる人たちであり、どこかが把握した糸口を地域ネットワークにつなげていく取り組みが欠かせない。
- (2) これらの人たちに対する連携支援は、「どこかに渡して終わる連携」でなく「重層的に関わり合う連携」が必要であり、支援を求める人たちのための資源コーディネートと重層的なフォローアップが必要である。
- (3) そのためには、かかる事業推進の核となる「地域事業者」を設ける必要がある。法務省の補助事業として都道府県に拠点を設け、専門職員を配置して、地域資源のコーディネートやフォローアップをきめ細かくマネジメントしていくことが一人ひとりの再犯防止につながる。
- (4) 併せて、地方自治体がこの事業を支えるために、自治体が主宰する「社会復帰支援ネットワーク協議会（仮称）」を常設の組織として設置し、市町村間の、そして地域関係団体の相互連携と理解を深めることを期待したい。

#### 2 地域生活定着支援センターへの関わりの強化

上記とも関連するが地域生活定着支援センターの役割は、その支援ニーズの増大により一層高まっており、これまでも増してその活動の充実とそのための運営体制の強化を期待したい。これは国の補助事業であるが、地方公共団体が同センターの支援を必要としている人たちに深い関心を持ち、その運営に積極的に関わることによってその機能が一層高まるものと考えられる。

その場合、前記事業拠点との緊密な連携関係も必要である。

## Ⅱ 「関係機関の人的・物的体制の整備等」

### 1 「入り口支援」の制度整備・・・一部既述（第3回検討会意見）

- (1) 様々な関係者の実践によって、司法プロセスの入り口段階における社会生活支援ニーズのアセスメントの重要性が理解されるに至っている。
- (2) しかし、現状では弁護士等の個々のでかつ格別なご尽力によってなされていると言っても過言ではない。今後この取り組みを制度化して持続的な「入り口支援」を構築することが必要である。制度化することにより、「入り口」支援を地域連携でのコーディネートやフォローアップに一貫性を持ってつなげることが期待できるし、その後の司法プロセスを通じた支援や「出口」支援にもつながっていくことが期待される。
- (3) このような役割を担うのは、地域処遇としての社会内処遇を担う保護観察所が適任である。保護観察所は、医療観察分野において入り口段階での検察庁・裁判所・医療関係機関等と連携したアセスメント、支援計画の策定などの経験を積んでいる。  
支援ニーズのアセスメント、関係者との支援調整と計画策定、フォローアップなどを、司法関係者との緊密な理解・連携のもとに推進する体制を構築することで必要な人たちを必要なタイミングで福祉サービスはもとより就労・住居等の支援につなぐことができるよう望みたい。
- (4) もちろん、このような制度設計は刑事司法制度の在り方にも関わるものであり、多面的な検討を要するものであって容易なことではないと考えられるが今後の検討課題とされることを期待したい。

### 2 保護観察所における専門的薬物処遇部門の充実強化

薬物依存対象者については、精神保健福祉センター、病院、保健所、福祉事務所、自助グループ等との幅広く、かつ専門的な連携を必要としているが、それらの連携を保護観察所が責任を持ってマネジメントしなければその連携は機能しない。

今後、地域において日常的に保護司が薬物依存対象者を担当することが増えてくると予想されているが、その円滑な実施のためには専門性と機動力をもってフルサポートする保護観察所の体制が何よりも必要である。民間関係者としては、その中核となる保護観察所の薬物処遇専門のユニットの充実拡大を強く望んでいる。

### 3 医療・保健機関等における依存症の専門的治療・相談体制の確立

既に厚生労働省の計画に示されているとおり、薬物等の依存症治療拠点の拡大と精神保健福祉センター等への依存症相談員の配置は緊要な課題とされている。増大する社会的ニーズに対応して積極的に進めていただきたい。